

こんなものもあります編

逆引きDNSの運用強化について  
提案顛末

Jan 2007  
NTT 豊野 剛  
toyono@nttv6.net

# 事の契機

*NTT Information Sharing Platform Laboratories*

- 2005/10/23
  - 01:30-21:30 APNIC逆引き障害発生(20時間)
- 2005/10/24
  - JPNICによるトピックスがWEB上に掲載
- 2005/10/28
  - APNICによるメーリングリスト通知(apnic-announce)
  - JPNICによる対策開始のトピックスがWEB上に掲載
- 2005/11/01
  - JPNICによる10/28 APNICアナウンスの訳がWEB上に掲載

ほぼ一日に渡りサービスが停止していたにも関わらず  
アナウンスは遅かった

# 当時の問題意識

*NTT Information Sharing Platform Laboratories*

- JPNICの管轄する基幹DNSの運用・工事・障害情報は**必要な人**に十分共有されているだろうか？
  - DNSの逆引きはJPNICが運用
  - 一部はJPNIC管理下でAPNICが運用
- 必要な人とは？
  - IPアドレス指定事業者の現場DNSオペレータ
  - その他にもドメイン事業者, ASP, 一般ユーザなど

# 提案した内容

*NTT Information Sharing Platform Laboratories*

- RIR情報の迅速な共有体制作りの提案
  - 障害情報・工事情報の連絡体制の確立
- IPアドレス指定事業者に向けた工事・障害情報の**迅速な連絡・周知(・翻訳)体制の確立**
  - 1.障害の検知方法の再確認
  - 2.APNICとの必要な連絡体制の見直し
  - 3.情報周知までの内部フロー作り
- 上記の情報周知のフローに関する**SLAの設定**
  - 例:第一報はRIR原文まま再アナウンスを行う, 障害情報は発生から24時間以内に周知する, などなど

# JPOPM会場での議論は

*NTT Information Sharing Platform Laboratories*

- 会場のコメント
  - メールではない代替手段として他の方法も検討しておいてほしい。また、障害対応の連絡先を設けて欲しい。
  - JPNICが障害時の体制を整えること、APNICとの連絡パスをしっかりとすること、APNIC/RIRとしてもちゃんとした体制をとってもらうこと、を分けて考える
  - 指定事業者に対する体制と、一般的に通知すべき体制を分けて整理して考えるべき。
- JPNICから
  - APNICも検討すべき問題としてAPNICのDNS SIGで提案する価値があると思う

# その後

*NTT Information Sharing Platform Laboratories*

- [結論]
  - JPNICが一般的なチャネルにおいて障害に関する通知体制を整えることについてコンセンサスが得られた
  - JPNICとしての体制を、APNICとの連携部分も含めて固め、進めていく
- その後は、皆様もご存知の通り。
  - JPNICの皆様，川端さん！  
いつもありがとうございます 😊

# まとめ

*NTT Information Sharing Platform Laboratories*

- IPアドレスポリシー以外のRIR, NIRの運用, 管理体制などへの意見も提案できる
- 必要なコンセンサスが得られれば, bottom upにRIR, 牽いては世界中へきちんと意見が反映される
- 必要な意見があれば, 是非JPOPMの場を活用して頂きたい